

WHOがゲーム依存を 疾病認定 対策は

吉川 三津子議員



個別のカウンセリングも考えていく

教育長



初回放送日：2019年2月11日

◆こころの病気 総力特集「ゲーム障害」◆

<https://www.nhk.jp/p/kyonokenko/ts/83KL2X1J32/episode/te/N5YZZM1QXN/>

▲NHK「きょうの健康」より

問 2019年にWHO（世界保健機構）は「ゲーム障害」をアルコールと同様の依存症として疾病認定し、厚労省も対策関係者連絡会議を設置。医師会もゲーム依存による脳へのダメージ等へ警鐘を鳴らしている。市の認識は。

答 学校で情報モラル教育を推進しているが、ゲーム依存による脳への影響は含んでいない。国や県の動向をみていく。

問 本市の保健師は、講演会等でスマホを子守代わりにしてはいけない等、脳への影響も啓発している。なぜ教育部局につながるのか。スマホ依存の現状調査・研修会の考えは。

答 ネット依存への対応の必要性について、文科省から正式文書はないので、国や県の動向を注視する。

問 文科省からは、改善マニュアルも出ているが、通知が来ないとやらないのは情けないことだ。

教育長の見解は。

答 4月に実施された全国学力テストの質問紙調査の結果によると、平日に家で4時間以上テレビゲームをする割合が、全国に比べ本市の小学6年生は3.3%上回り21%、中学3年生でも3.7%上回り20.3%とやや高い状況で、5人に1人が4時間以上ゲームをしている実態だ。

依存度が深刻なケースは、個別カウンセリングも考えていく。

能登震災の
教訓を活かせ

問 7月に能登に行った。6カ月経っても震災直後のままだ。地域力が重要だが、本市に重機を持った業者、屋根を直す大工さん、水道屋さんは存在するのか。

答 産業建設部、上下水道部が日頃から地域事業を市内業者に発注し、育成している。

問 井戸は重要だ。自己水である井戸の考え方は。

答 能登の応援に行き、井戸水が大きな役割を果たすと考えている。現在、浄水場の更新事業に係る基礎設計業務をしているが、使える方向で検討する。

問 家庭の消火器や火災報知器の設置状況は。

答 消火器設置率は把握していない。火災報知器設置率は80%弱だ。